



ハノイ貿易大学

留学した先輩たちの体験談から

1960年、ベトナム政府外務省のもとで、外務省及び通商省のための人材養成機関を目的として設立された国立大学。

ベトナムでは最難関とされる大学の一つである。1963年までは外務省の国際交流部門に所属していた歴史もあり、伝統的に英国、米国、豪州との関係が深く、外交官や政治家、その他各界のリーダーを輩出している。日本語教育も充実しており、日越間での経済人材交流の拠点校と言える。

学校生活：留学生は全ての学部の授業から自分の興味に合わせて受講可能。1学期が前期と後期に分かれているため、実質4学期制のような形。授業は学生同士の共同作業が不可欠。授業時間外に共に課題に取り組むことで、多くのベトナム人学生とつながることができる。

日常生活：あまり辛い料理がなく、味も日本人の好みに合う料理が多いので、困ることは少ないと思う。日本食料理店や日本食スーパーもあるので、日本食を食べることも比較的簡単。

■寮よりはアパートなどの方が自炊もできて○。

留学を考えている人へ

一度留学に興味を持ったら、迷わずチャンスをつかもうとすることが大切だと思います。明治大学はさまざまな国や学校と協定を結んでおり、留学に適した環境にいます。留学してみたいけれど、留学することが本当に役に立つのかと考えている人もいます。しかし、目まぐるしく変化を続ける今の世界で、今すぐに役に立つことは、すぐに役に立たなくなってしまう。逆に、今後のさまざまな場面のなかで、大学時代の留学が役に立つこともあるでしょう。留学に関しても、より幅広い視点で見つめ直せば、留学に関する捉え方を変えることにつながると思います。

(2017年度留学：男性)

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 日本言語文化学部

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学及びハノイについて

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学は、ベトナム国家大学ホーチミン市と並ぶ、同国でも有数の国立大学群であるベトナム国家大学ハノイ初期メンバーの一角である。その前身に1955年設立のベトナム寄宿学校外国語学部を持ち、現在はベトナム国内でもトップクラスの評価を得ている日本語学科を有する。2016年3月には、ベトナム政府が日本語を第一外国語としたことを受け、6月に日本語学科は学科から単体の学部に改組されたばかりである。

学校生活：日本言語文化学部の学生を中心に仲良くなった。グループワークでの課題が多かったので、休日や放課後もコミュニケーションを取りながら、一緒に課題を行った。■学生も全員ネイティブではないので、臆さず発言することが出来た。■大学内に寺などがあり、落ち着いた印象。静かな学生が多く、勉強しやすい環境が整っていると感じた。

日常生活：

■授業は基本英語だったので、英語でのコミュニケーションは、出国前にある程度できた方がいいと思います。

■留学中の生活ではベトナム語が必要になるのでベトナム語の勉強、心の準備、参考書の用意などしておいた方がいいです。

留学を考えている人へ

■生活に関していえば、出発前に情報力の収集が必要。■留学にベトナムを選ばれる方はそんなに多くないと思われませんが、欧米などの英語圏、先進国で味わえない刺激があります。現地の方は優しいので暮らしにくくはないと思いますが、それでももちろん不自由に感じる生活や学校であるのは否めませんが、それもあとになれば面白い体験です。不安もあるかもしれませんが、せっかくの機会があるのでから飛び込んでみることをお勧めします。

(2017年度留学：女性)